

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月2日	記入者		連絡先	2562
平成18年度部名	市民部	課名	交通・地域安全課	課長名	江成政興
平成19年度部名	防災安全部	課名	交通・地域安全課	課長名	大貫雅巳
事務事業名	交通安全協会補助金				
予算上の事務事業名	交通安全協会補助金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23210		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第2節 安心して暮らせるまちづくり				
施策名	第1施策 交通事故のないまちづくり				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント		5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
交通安全運動、啓蒙宣伝など交通事故防止活動を行う交通安全協会へ補助金を交付し、交通の円滑と安全を図る。				相模原交通安全協会 相模原南交通安全協会 相模原北交通安全協会	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
補助金交付先(定額補助)					
1	相模原交通安全協会	750千円			
2	相模原南交通安全協会	740千円			
3	相模原北交通安全協会	300千円			
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	1,790	1,790	1,790	1,990	1,990
一般財源	1,790	1,790	1,790	1,990	1,990
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	68	68	68	68	68
事業コスト合計	1,858	1,858	1,858	2,058	2,058
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	交通安全協会補助金			対象名称 と単位	交通安全協会(協会 数)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	1,858	1,858	1,858	2,058	2,058
対象数	2	2	3	4	4
単位あたり経費(円)	929,000	929,000	619,333	514,500	514,500
前年度比		1.00	0.67	0.83	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	各種啓発活動実施回数（相安協）（回）	指標式と指標の説明	啓発活動実施回数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	6.0	6.0	6.0		
目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
目標達成度（%）	60.0	60.0	60.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	人口千人当たり事故発生件数（‰）	指標式と指標の説明	当該年交通事故発生件数÷人口×1,000 H16数値を基準値として、前年比5%減を目標設定		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	8.2	7.8	7.1		
目標	0.0	7.8	7.4	7.0	6.7
目標達成度（%）	#DIV/0!	100.0	104.2		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		交通安全協会は警察署単位で設置され、広く地域の交通安全のために活動しており、同協会の活動を支援し、連携を図ることは非常に重要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
安全・安心まちづくり推進協議会、各交通安全協会が相互に連携した活動を展開することにより、市域全体としての交通安全啓発活動を推進する。			会員数は減少傾向にあるが、地域の交通安全に対する交通安全協会の役割・存在意義は非常に高いことから、市としての更なる支援の在り方について検討する必要がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			